

# 奥出雲町景観計画と奥出雲町景観条例を制定しました

奥出雲町の豊富な景観資源を保全・活用し、良好な景観を創出していくことや、快適な生活環境と地域の活性化を図り、次世代に継承していくことを目的として、奥出雲町は、平成22年10月1日に景観法に基づく「景観行政団体」となりました。

23年度は、景観行政の総合的な指針となる景観計画を、町民の皆さんと共に策定してきました。

「奥出雲町景観計画」や「奥出雲町景観条例」では、行政や町民、事業者の責務や役割を定めるとともに、具体的な景観形成について、指針の策定や運用手続き、町民参加のあり方などを定めており、平成24年4月1日から施行しました。



## ◆ 景観区域

奥出雲町全域を「景観計画区域」に指定しています。

## ◆ 奥出雲町の景観特性

奥出雲町らしさを表す景観特性を次の5つに分類。奥出雲町の景観の中核となる要素です。

<p><b>季の景</b> ～ときのけしき～ 季節を愛でる 自然的景観資源</p>	<p><b>米の景</b> ～こめのけしき～ 仁多米がつなぐ 生産的景観資源</p>	<p><b>賑の景</b> ～にぎわいのけしき～ 潤いと賑わい のある暮らしの 景観資源</p>	<p><b>郷の景</b> ～さとのけしき～ 郷土愛を育む 歴史・文化的 景観資源</p>	<p><b>鉄の景</b> ～てつのけしき～ 連綿と続く たたら製鉄の 景観資源</p>
-------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

◆ 基本理念… 「縁による景観づくり」 鉄と米 賑わう季の郷 縁の景 奥出雲

景観  
づくり

まち  
づくり

ひと  
づくり

- ◇ 景観づくり  
地域の特性を活かした個性的な(奥出雲らしい)縁の景観づくり
- ◇ まちづくり  
「守り」「育て」「紡ぐ」 過去・現在・未来をつなぐ縁の景観づくり
- ◇ ひとづくり  
「出会う」「気づく」「愛でる」 住民が主役の縁の景観づくり

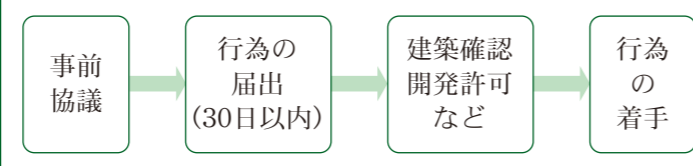
## ◆ 届出対象行為

町全域では、例えば、高さ10m以上、もしくは、面積が200㎡を越える建築物や工作物などの新築、増築、改築等をする場合、高さ5m又は表示面積10㎡を超える広告板や広告塔等を建てる場合には、事前に町への届け出が必要になり、協議・誘導を行います。

**【お問い合わせ先】**  
役場 地域振興課  
有線:31-5264/電話:54-2524

## ◆ 建築などを予定している皆さんへ

平成24年4月以降は、この景観計画と景観条例に基づいて、町内全域で一定規模の建築物の建築や工作物の建設などを行う場合には、景観計画の中で定めている景観形成基準の内容に沿ったものであるかどうかを確認するために、事前に町へ協議し、届け出が必要となります。



▲高尾小学校屋内運動場

交流事業など幼保小中学校が連携する事業を積極的に導入し、学校間の交流促進など地域資源を活用した特色ある教育、教育効果を高める各種支援に努めます。

そのほか、学力向上や生徒指導、特別支援教育、読書活動などふるまい向上、公民館活動などの充実を図るため、引き続き教育委員会事務局に県派遣の指導主事、社会教育主事を各一名配置します。

なお、二十三年度から横田高校が県の指定を受けスタートした「離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業」についても、積極的に支援します。

学校施設整備については、高尾小学校屋内運動場教室棟大規模改修・耐震補強事業、仁多中学校管理教室棟大規模

改修事業に取り組みます。そのほか、各地区公民館は、地域の生涯学習の拠点及び地域活性化の活動拠点としての機能を強化していきます。

## ◆ スポーツの振興

ホッケー競技は、国内において優秀な成績をあげており、六月二日に本町を会場に開催される日本リーグの開幕戦では、地元チーム「セルリオ島根」の活躍が期待されます。

また、町体育協会の陸上剣道などについても競技力の向上強化を図るほか、三月末設立を予定している総合型地域スポーツクラブを中心とした生涯スポーツの普及振興にも努めます。

## ◆ 文化芸術の振興

文化協会をはじめとする文化団体との連携を密にし、団体の育成支援や、昨年に引き続き、東京藝術大学によるサマースクールを実施するなど、音楽技術のレベルアップと同時に芸術鑑賞の機会を提供します。

また、歴史文化について、たたら製鉄とともに歴史を歩んできた本町は、日刀保たたら

## ◆ 新エネルギー施策と環境対策

二十三年度は、奥出雲町新エネルギービジョンに基づき、佐白地区交流拠点施設と玉峰山荘に木質ボイラーを整備したところです。

今後は、これらの導入効果を検証し、他の公共施設等への導入について検討します。

また、太陽光発電施設や木質暖房器具などの整備を推進するための助成制度を充実させるとともに、企業等が行うバイオマス技術開発等についても、引き続き支援します。

さらに、二十四年度は、森林所有者が自ら間伐材を搬出し、それをチップ化することにより対価を得る「木の駅プロジェクト」

## ◆ 職員の人材育成

行政組織改革の一環として、行政組織機構の見直し、適正な職員配置に配慮するとともに、職員研修・派遣等による職員の資質向上に努めます。

具体的には、現在実施している総務省との人事交流、島根県及び島根県建設技術センターへの職員派遣については二十四年度も引き続き行うほか、内閣府への職員派遣一名も、今春交替して継続実施します。

## ◆ 町税等の滞納対策

本町における二十二年度末

## ◆ 活力ある奥出雲を目指して

県内外で厳しい状況が続く中、将棋の里見香奈さん、テニスの錦織圭さんなど、文化やスポーツの分野で島根の若者が活躍し、私たちに大きな喜びと感動を与えてくれています。

こうした元気な若者の活力に加え、年配者の豊かな経験、そして、粘り強い町民性などを結集させることで「笑顔と語り、元氣あふれる町づくり」が進むよう、今後も全力で取り組みます。